

老後の生き方・住まい方…有料老人ホームの選び方

対談・これからのホーム選び

作家 桐島洋子さん



桐島洋子さん(きりしま・ようこ) 1937年生まれ。作家。1956年文藝春秋に入社、1965年退社しフリーライターに。1967年、従軍記者となりベトナム戦争を体験。1972年『淋しいアメリカ人』で第3回大宅壮一ノンフィクション賞を受賞。以来、精力的に作家活動に取り組み、『聡明な女は料理がうまい』はベストセラーに。ほかに『女ざかり』シリーズや『50歳からのこだわらない生き方』『残り時間には福がある』など著書多数。私塾「森羅塾」主宰。

人生の最終章にふさわしい “人”と“環境”を重視して選ぶ

エッセイを通して、新しい女性の生き方や価値観を問い続けてきた作家の桐島洋子さんが、「ロイヤル川口」と「ロイヤルハウス石岡」を訪れました。まずはスタッフの案内で施設内を見学。終始、にこやかに、そして興味深げにスタッフの説明に耳を傾けておられました。自立した女性としての生き方を貫き、自由そのままに人生を歩んでこられた桐島さんの目に、2つのホームは、どのように映ったのでしょうか。大久保貞義園長と桐島さんの対談から、有料老人ホームの理想形が見えてきます。

■対談：ロイヤルハウス石岡にて(2016年4月28日) ■撮影：伊藤大介



ロイヤルハウス石岡園長  
ロイヤル川口園長

大久保貞義

大久保貞義(おおくぼ・さだよし) 1935年生まれ。ロイヤルハウス石岡・ロイヤル川口園長。1959年、東京大学教育学部卒業後、毎日新聞社入社。1961年、東京大学新聞研究所卒業後、スタンフォード大学大学院、プリンストン大学大学院に留学。1964年、アメリカ議会奨励学生として留学。その後、東海大学、東京大学、自治医科大学、北里大学で教鞭をとる。1972年獨協大学助教授、1976年に教授就任。現在獨協大学名誉教授。

長旅に出かけたり  
自由な暮らしが楽しめる

**大久保** 当ホームを見学されて、将来、どのように過ごしたいと思われましたか？

**桐島さん**(以下敬称略) 高齢になると、自宅でポツクリ死ぬたらいと思えますが、有料老人ホームで過ごすという選択もありますね。私は旅が好きですから、ホームに入居するとしたら、そこを根城にして世界を見て回る、そんな過ごし方がしたいですね。

**大久保** この入居者の方の中にも、3カ月にはわたる世界旅行をお楽しみになられた方がいらつしやいますよ。

の要望に応える必要がありま  
すから、ヘルパーがそのつど要  
望を汲み取って自分の判断で  
動くことが求められます。

**大久保** 今、熊本で大きな震災が起きていますが、天災で

の要望に応える必要がありま  
すから、ヘルパーがそのつど要  
望を汲み取って自分の判断で  
動くことが求められます。

の要望に応える必要がありま  
すから、ヘルパーがそのつど要  
望を汲み取って自分の判断で  
動くことが求められます。

好きでよく利用しますが、船  
での毎日のお楽しみも自由  
参加なので、ここでの過ごし  
方と似ていると思いました。

**大久保** 桐島さんは、老人  
ホームをお選びになる時、ど  
んな点を重視されますか？

**桐島** まず人間環境が重要  
ではないでしょうか。大勢の  
入居者やスタッフと日々関  
わりをもちながら暮らして  
いくわけですから、“人”は重  
要なポイントだと思います。

**大久保** 当ホームの最大の特  
長はスタッフ教育です。私は  
長い間大学教授として研究  
と教育に携わってきました。

その経験から熱心にスタッフ  
教育に取り組んでいるんで  
す。モノを作るのは、マニユア  
ルにのっとり流れ作業ででき  
ますが、介護の場合はそうは  
いきません。入居者一人ひとり

インフラが機能しなくなった  
ときこそスタッフの質が問わ  
れます。東日本大震災のと  
き、私は不在でしたが、10数  
時間かけて石岡に着いたと  
き、スタッフはしっかり入居  
者の安全を確保し、震災当日  
から工面して温かい食事を  
提供していました。入居者の  
皆さんから大変感謝されま  
したよ。

**大久保** 入居者とお話をさ  
れてどんな印象でしたか？

**桐島** 女性お二人、とても仲  
良しでしたね。スタッフによ  
くしていただいていると感  
謝していました。

私は今、年の1/3はバンク  
パーに住んでいます。街の  
様子が様変わりしたので脱  
出する予定です。おいしい食  
べ物と、居心地のいい住ま  
い、一緒にいて楽しい人がい  
れば、満足ですね。

私は今、年の1/3はバンク  
パーに住んでいます。街の  
様子が様変わりしたので脱  
出する予定です。おいしい食  
べ物と、居心地のいい住ま  
い、一緒にいて楽しい人がい  
れば、満足ですね。

大久保貞義著

一瞬の星の光

理想の有料老人ホームを求めて

満州からの引き揚げ時の壮絶な体験から、著者は頼れるものは金ではなく、知であると感じます。その思いが、後に理想の有料老人ホーム開設につながりました。著者の並々ならぬ有料老人ホーム開設への熱い思いだけでなく、有料老人ホームの選び方を多くのページを割いて丁寧に解説。入居者の満足度が高い有料老人ホームの経営者だからこそ示唆に富んだアドバイスが満載です。ホーム選びの実用書としてお役立てください。



有料老人ホーム選びに役立つ1冊!!  
一瞬の星の光  
大久保貞義  
My Life, My Way 星の光に導かれて  
四六判並製・232頁  
発行:(有)シニアタイム

有料老人ホーム選び十ヶ条

- 入居の目的 第一条 入居の目的を明確にすること
- 入居の時期 第二条 人生最後の選択を見誤らないこと
- 家族の形 第三条 現代社会にそぐわない家族観は捨てること
- 遺産相続 第四条 遺産相続のトラブルを回避すること
- 介護 第五条 その介護に温かさがあるかよく見ること
- お墓 第六条 お墓のことまで考えておくこと
- 地震 第七条 地震に備えること
- 友人 第八条 ホームに友人をつくること
- 障害児 第九条 障害児と一緒に入居できるか？
- 要介護ホーム 第十条 “入居金0円ホーム”は要注意



写真左から、桐島洋子さん、ご入居者の池田とよ子さん、藤崎静江さん

**大久保** ここは緑豊かで自然環境にも恵まれています。  
**桐島** カナダで見たホームは、オーシャンビューを楽しめて、まるでリゾートホテルのようでした。人生の最期を心安らかに過ごすには、景色の良さも重要だと思います。

**大久保** よい景色は人の心に安らぎを与えてくれます。私は満州から命からがら引き揚げてきたのですが、船のデッキから日本の緑豊かな木々の茂

お問合せは Tel.0299-23-2300

ロイヤルハウス石岡

発行:(有)シニアタイム  
お問合せは Tel.0299-23-2300  
ロイヤルハウス石岡まで